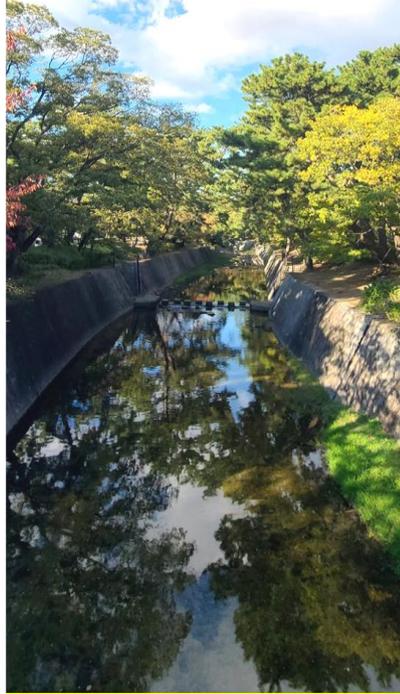
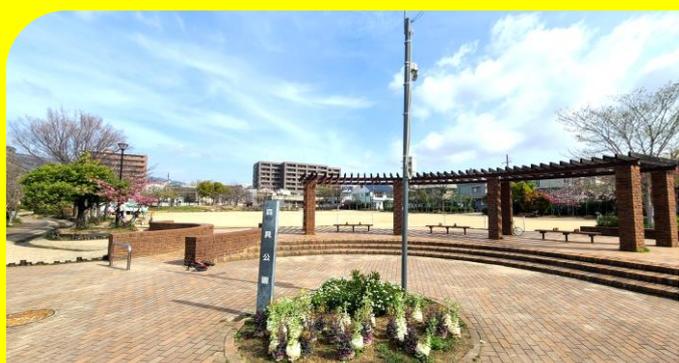


一戸一冊、必ずお目通してください！

災害時に自分と家族の命を守る

わが家の防災 ハンドブック



松下町・屋敷町・弓場町 自治会

監修：西宮市

森具地区3町にお住まいの皆様へ

松下町・屋敷町・弓場町の3町は、南は国道43号線、北は2号線、東は夙川、西は芦屋市市境に囲まれたエリアで、津波・大雨や暴風雨・高潮等の災害を想定しますと、安全とされるエリアと危険とされるエリアの中間に位置します。つまり、事前の情報収集や学習、そして家族単位等での対策の実施と共有、ご近所・地域との連携が機能するとしないとでは、大きな差が生まれると想定されます。

このハンドブックの情報と対策だけでは十分とは言えないかもしれませんが、まずはここに記載されていることについてご家族やご近所・地域で理解・共有頂き、更にそれぞれの環境に合致した具体的な準備へと繋げて頂ければと願い、この冊子を作成致しました。

このハンドブックの活用方法については、簡単に右側のページに記載させて頂きました。ぜひ、何度でも繰り返して確認頂ければと願っております。

2023年 9月 屋敷町自治会長 吉川正
弓場町自治会長 松下由美子
松下町自治会長 吉田直也

この冊子の活用方法

①まずは家族みんなで冊子の読み合わせをしましょう。

全員が防災について知っておくことが重要です。



②読み合わせの後、災害に対して、どんな備えが必要か、具体的に備えとしてどんな項目が考えられるか、話し合い、書き出してみましょう。

命を守るためには備えを万全にするのが一番です。



③書き出した備えの項目の1つずつについて、誰が・いつ・どのように実行するか、計画して実際に行動しましょう。

実際に行動して初めて備えたことになります。



近くの避難所・津波避難ビル

次ページ以降に紹介する災害からの避難先の候補です。
自宅の状況によっては、これらの他に自宅にとどまること(在宅避難)や安全な場所にある
親戚・知人宅への避難も避難先の候補になります。

災害ごとに避難先をどこにするのか(在宅避難を含めて)、
避難先の候補を複数決めておくと安心です。



津波避難ビル

身の安全を守るための一時的な避難先。
津波だけではなく、洪水や高潮からの避難でも利用可。(警戒レベル4、避難指示以上)

香榎園市民館分館
(森具集会所)

地震等の大災害が発生した際の長期的な避難が可能。

目次

想定される地震・津波について

1. 南海トラフ地震の発生確率 P 1
2. 南海トラフ地震での 3 町地域の震度想定 P 1
3. 地震発生時に命を守る基本行動 P 1
4. 南海トラフ地震での津波 P 2
5. 津波から命を守る 3 つの避難行動 P 3

想定される風水害（雨・風による災害）について

1. 夙川があふれた場合 P 4
2. 洪水からの避難行動 P 5
3. 高潮が起こった場合 P 6
4. 高潮からの避難行動 P 7

日頃の備えについて

1. 家具の転倒防止対策や配置の工夫 P 8
2. 地震発生時の出火防止対策 P 8
3. 備蓄品の準備 P 9
4. 非常持出品の準備 P11
5. 情報収集手段の確認 P12
6. いざというときの安否確認手段 P13

あなたの家庭の防災力チェック P14

地域の防災活動への参加 P15-17

マイ避難プラン・いざという時の連絡先 背表紙

地震

阪神・淡路大震災ではここ森具地区でも多くの被害が起きました。家屋、塀、いろいろなものが崩れ、いつも見ていた景色は一変しました。

東日本大震災では大地震の後に津波も発生し、多くの人が犠牲になりました。

このような大震災は全国各地で起きており、この地域でもいつ起こるか分かりません。私たちは過去の震災からの教訓を活かし、大地震を乗り切らなければなりません。



【東日本大震災】

【松下町・阪神淡路大震災当時】

「助け合い」がなければ大震災を乗り越えられません。

阪神・淡路大震災で家屋などの下敷きになった人の救助の多くは、隣人・通行人などによるものでした。

東日本大震災では津波が発生し、多くの被害がありました。沿岸部の釜石市鶴住居地区も津波で壊滅状態となりましたが、この地区にある鶴住居小学校と釜石東中学校にいた児童・生徒約570人は、声を掛け合って皆で避難することで、全員無事に避難することができました。これは「釜石の奇跡」と呼ばれています。生徒らは普段からの訓練を通し、最善の行動を取る事で助かりました。皆さんも防災訓練などには積極的に参加して下さい。

また、**自分や家族の命を守ることも助け合いにつながります。**

地震では命を守るための行動を取れるようにし、自宅での家具転倒防止対策をするなど、皆さん一人一人が災害へ備えるようお願いいたします。

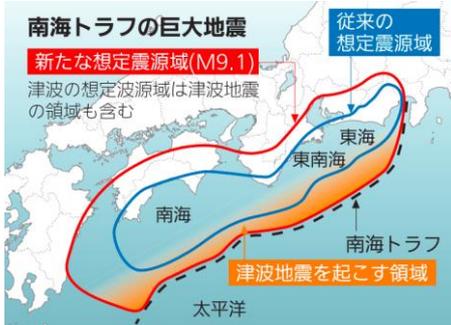


想定される地震・津波について

地震はいつどこで起こるか分かりません。大地震が起きてもすぐ行動できるように、地震、特に甚大な被害が想定されている南海トラフ地震について知っておきましょう。

1.南海トラフ地震の発生確率

今後30年以内に70~80%



南海トラフ地震は概ね100~150年ごとに発生しています。前回の地震から約70年が経過しており、今日や明日起こるかもしれません。なお、南海トラフ地震だけではなく、直下型地震(例:阪神・淡路大震災)も起こる可能性があるため、しっかりと備えましょう。

2.南海トラフ地震での3町地域の震度想定

震度6弱

震度6弱の揺れとは？

- 立っていることが困難
- ドアが開かなくなることがある
- 固定していない家具の大半が移動又は倒れる
- 窓ガラスが破損・落下することもある
- 耐震性の低い木造建物の場合
 - 瓦が落下
 - 建物が傾いたり倒れることもある



3.地震発生時に命を守る基本行動



屋内にいる場合

- 大型家具からなるべく離れる
- 揺れがおさまればすぐに火の始末。出火したら、初期消火
- 戸やドアを開けて逃げ道を確保。慌てて外に飛び出さない
- スリッパ・靴を履き、ガラス片等によるケガを防止



屋外にいる場合

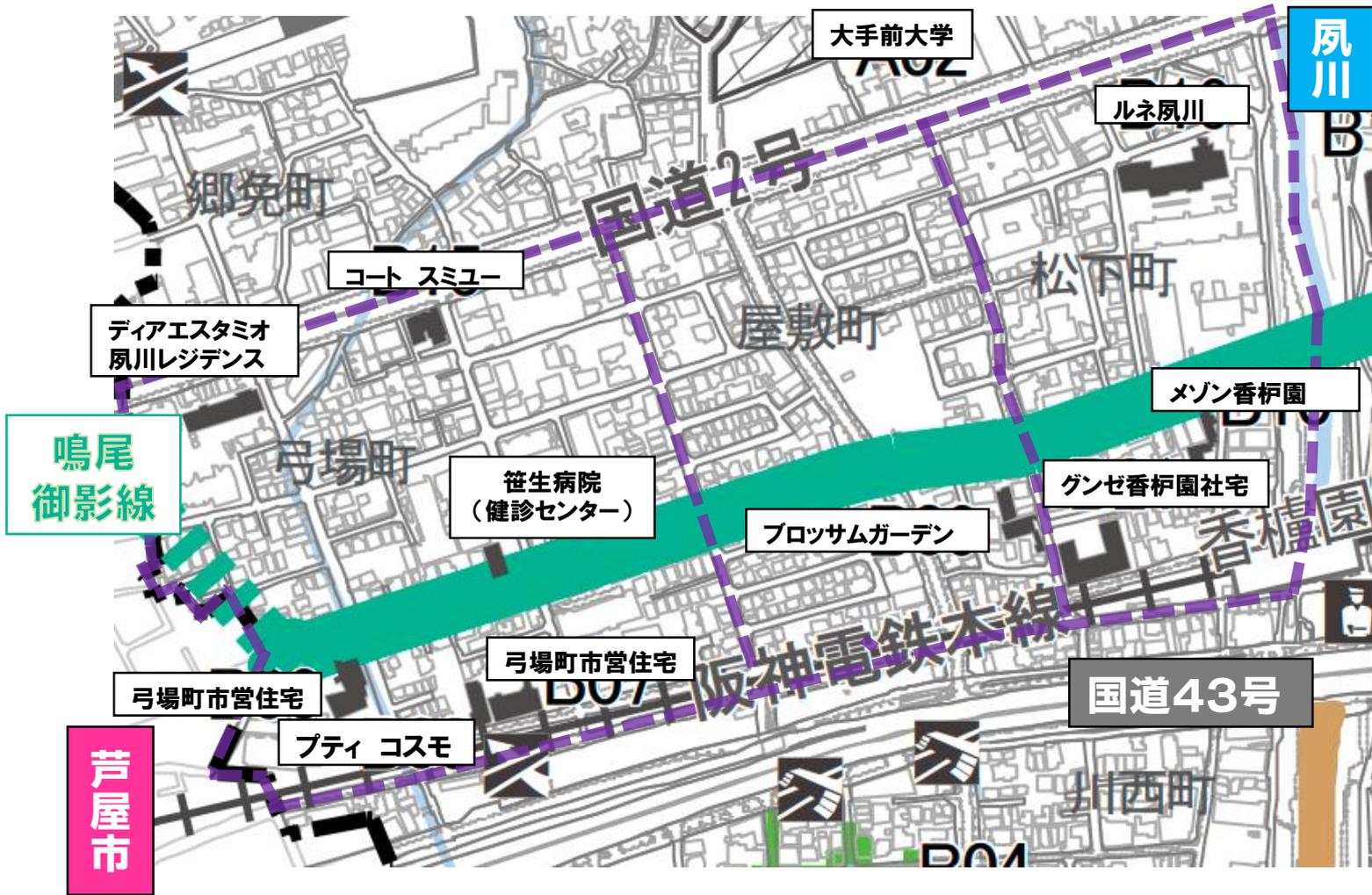
- ブロック塀や石塀、電柱や自動販売機などから離れる
- カバンなどで頭を保護し、できるだけ建物から離れる
- 切れた電線には絶対に触らない

エレベーターは使わない

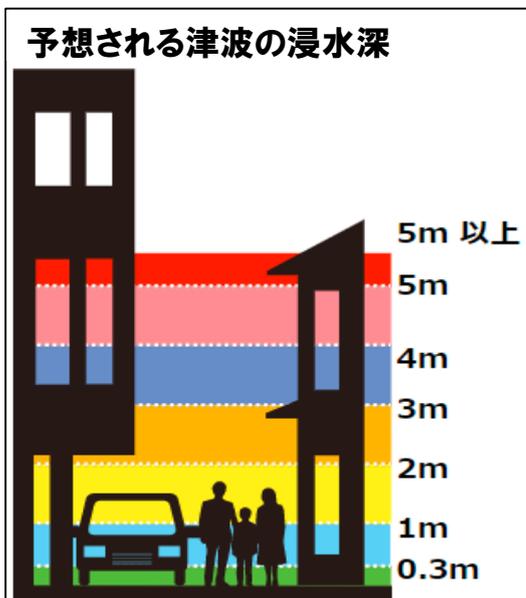
- 途中で止まる恐れがあるため、しばらく使用を控える
- 発生時に乗っていたら階数ボタンを全部押し、停止した階で降りる
- 閉じ込められたら、非常ボタンで管理会社に連絡を取り、落ち着いて救出を待つ

4.南海トラフ地震での津波

この辺りは津波の浸水想定はありませんが、念のため西宮市の指針に基づいた津波の避難行動を取れるようにしておきましょう。



R5西宮市防災マップ津波ハザードマップ全市域版より抜粋



近くの津波避難ビル

- 弓場町市営住宅 (1,2号棟)
- プティ コスモ
- ブロッサムガーデン
- メゾン香栢園
- 笹生病院 (健診センター)
- ディアエスタミオ夙川レジデンス
- コート スミュー
- ルネ夙川
- グンゼ香栢園社宅

※大手前大学は津波避難場所です。
敷地内のみ避難可能です。(建物内は不可)

5.津波から命を守る3つの避難行動 **水平避難・垂直避難・自宅等待避**

水平 避難

鳴尾御影線より北側へ避難する

津波が到達しないと想定されている場所(避難対象地域外)まで、徒歩または自転車で避難する。

車での避難は渋滞に巻き込まれる
場合や、緊急車両の通行の妨げに
なる場合があるので、基本的に避
けましょう



垂直 避難

津波避難ビルなどの“3階以上”へ避難する

津波避難ビルや鉄筋コンクリート造などの建物の3階以上へ、
一時的に避難する。



自宅等 待避

鉄筋コンクリート造などの“3階以上”に居る場合は、その場にとどまる。

地震による建物の損傷・火災や周辺の火災がないなど、
その建物の安全が確認できた場合は、その場にとどまる。



3町地域の基本的な避難の考え方(津波)

津波警報や避難指示が発令されればすぐに下記いずれかの行動を取ってください。

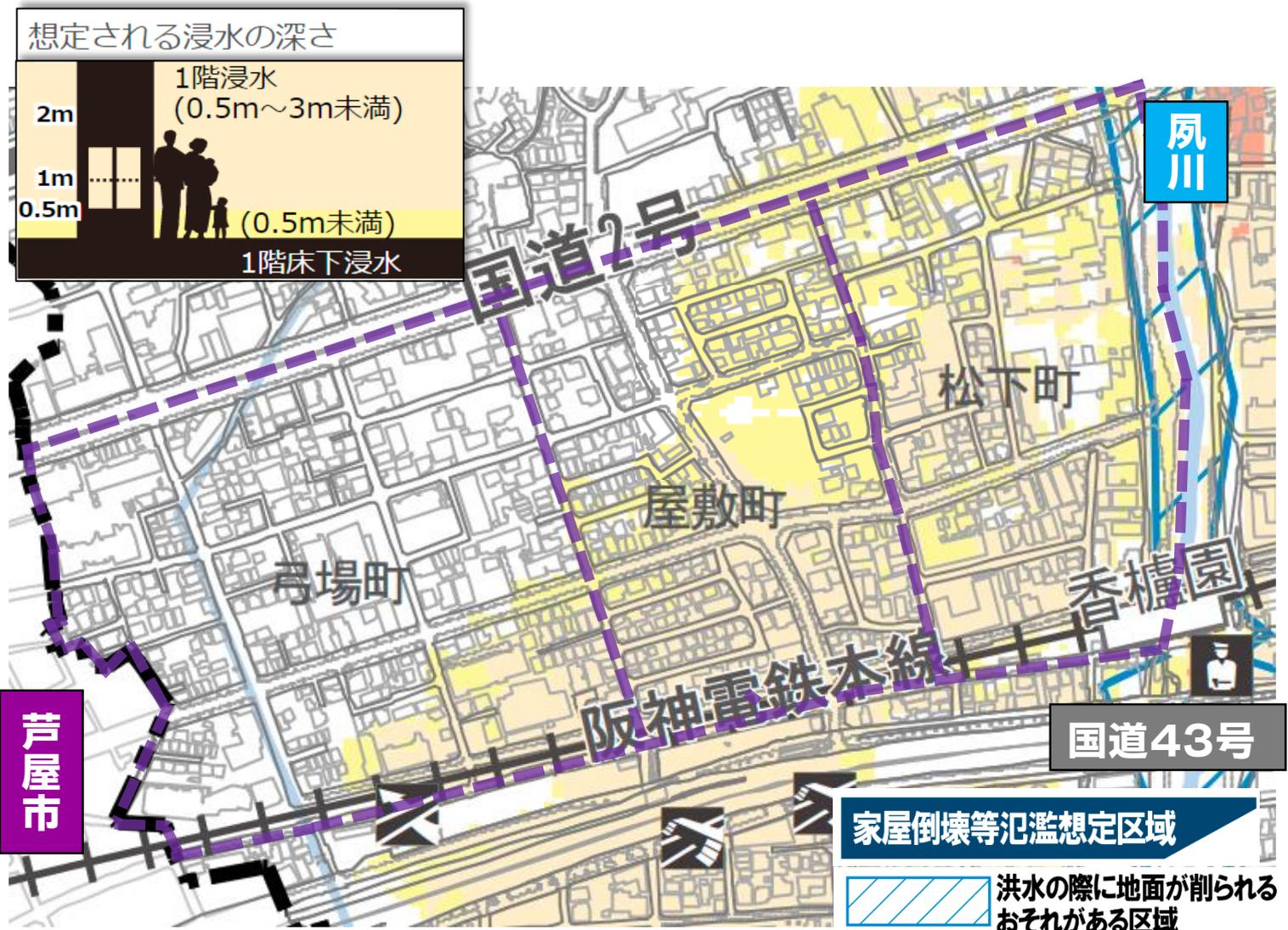
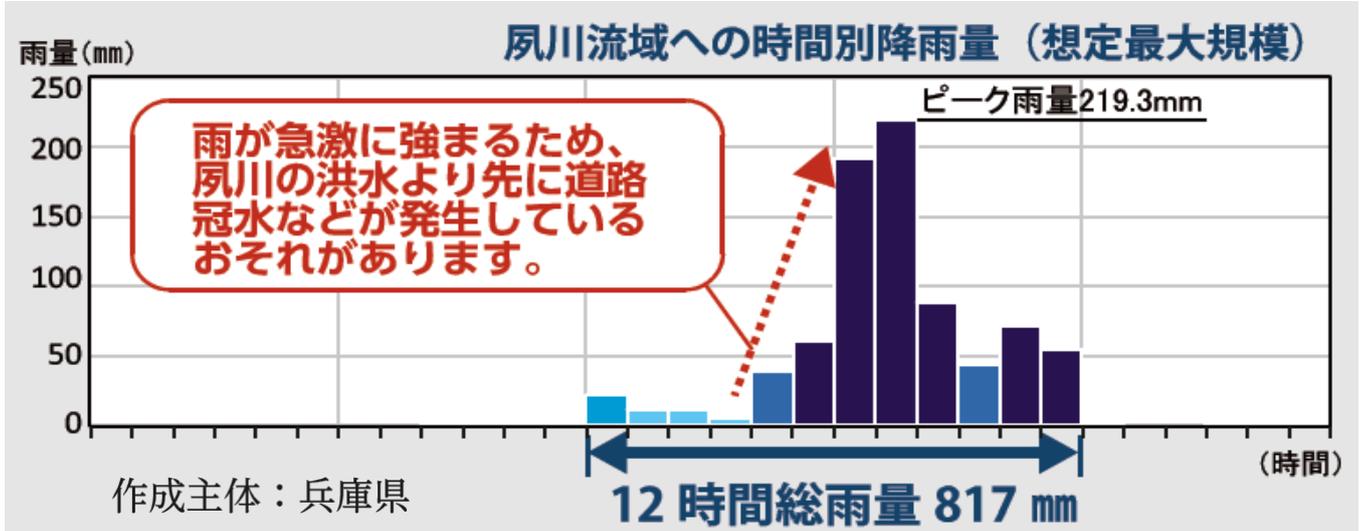
- 鳴尾御影線より北へ避難(既に北側にいる場合は南側に行かない)
- 鉄筋コンクリート造など、堅固な建物の3階以上へ(津波避難ビルなど)
- すでに堅固な建物の3階以上にいる場合はその場にとどまる



雨や風による災害について

1. 夙川があふれた場合 **1階あたりまで浸水**

短時間でかつてないほどの大雨が降った場合、夙川があふれ、浸水する可能性があります。



R5西宮市防災マップ洪水ハザードマップ 南部地域【夙川】より抜粋
※ハザードの色は国土交通省の指針に基づいたものです。

2.洪水からの避難

左図を見ながら避難行動を考えてみよう

1 右の区域に入っていたらその場から離れましょう(滞在不可)



2 自分の住んでいる場所にかかっている色や自宅の階数などから判断しましょう



3町地域の基本的な避難の考え方(夙川の洪水)

① 滞在可なら、自宅などのなるべく上階に避難。(在宅避難)

② 滞在不可なら、最寄りの高い建物(知人宅など)に避難。

※夙川洪水が起こる場合、既に外が危険な可能性が高く、外出しての移動や避難は危険です。



・様々な避難方法に備え、非常持出品や1週間分の備蓄品を準備するなど、「日頃の備え」を万全にしておきましょう！

※日頃の備えについては →P8参照

避難を助ける情報について

●災害発生の危険が高まった場合、市から避難情報が発令されます。

●※「避難情報」が発令されたら、早めの行動を！

ここまでに行動してください

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報	早期注意情報	大雨・洪水注意報など	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
みなさんの行動	最新情報に注意	避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保
	気象庁が発表		市が発令		

※避難情報は災害の種類ごとに発令されます。このあたりは土砂災害警戒区域に該当しないので、土砂災害の避難情報で慌てて避難する必要はありません。

※避難情報等の情報収集手段 →P12参照

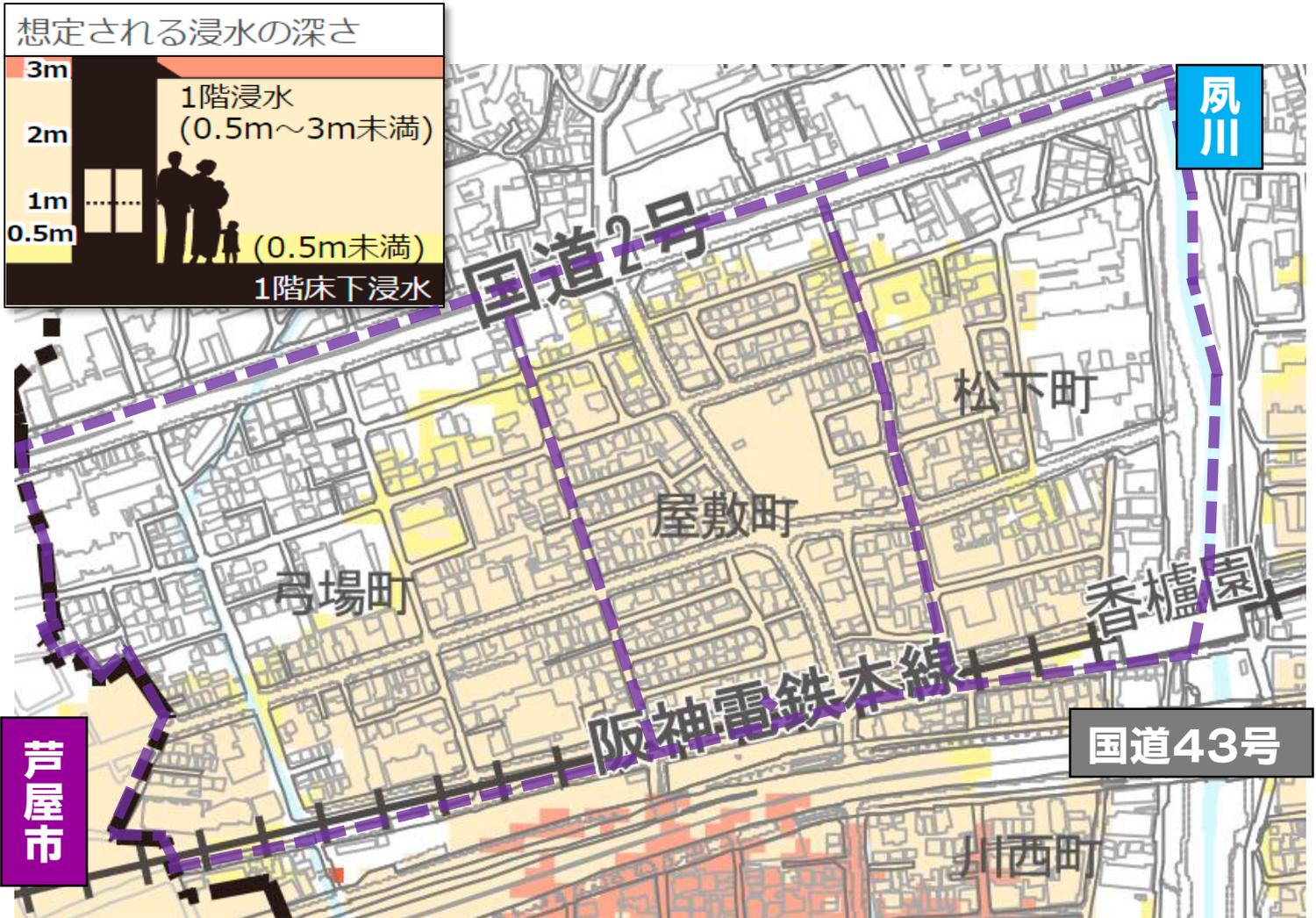
動画で詳しく学べます！
「3分で分かる 避難情報」



3.高潮が起こった場合

1階あたりまで浸水

巨大な台風などが接近した場合、高潮が発生し、浸水する可能性があります。
※その時々状況によって高潮の規模は大きく変わるので、台風情報等に注意しましょう。



西宮市HP高潮ハザードマップ 高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)より抜粋
※ハザードの色は国土交通省の指針に基づいたものです。

高潮の発生要因

高潮は、以下の3つの要因で発生します。

- ①気圧低下による海面の上昇(吸い上げ)
- ②風で押し寄せる波(吹き寄せ)
- ③満潮時間との重なり

①気圧による海面上昇(吸い上げ)

気圧が1hPa低下すると、約1cm海面が上昇します。

②風で押し寄せる波(吹き寄せ)

台風による強い風で海水が海岸に吹き寄せられて、海面が上昇します。
押し寄せた波が、沖に戻れずに海岸付近にたまるようになり、海面が上昇します。

③満潮時間との重なり

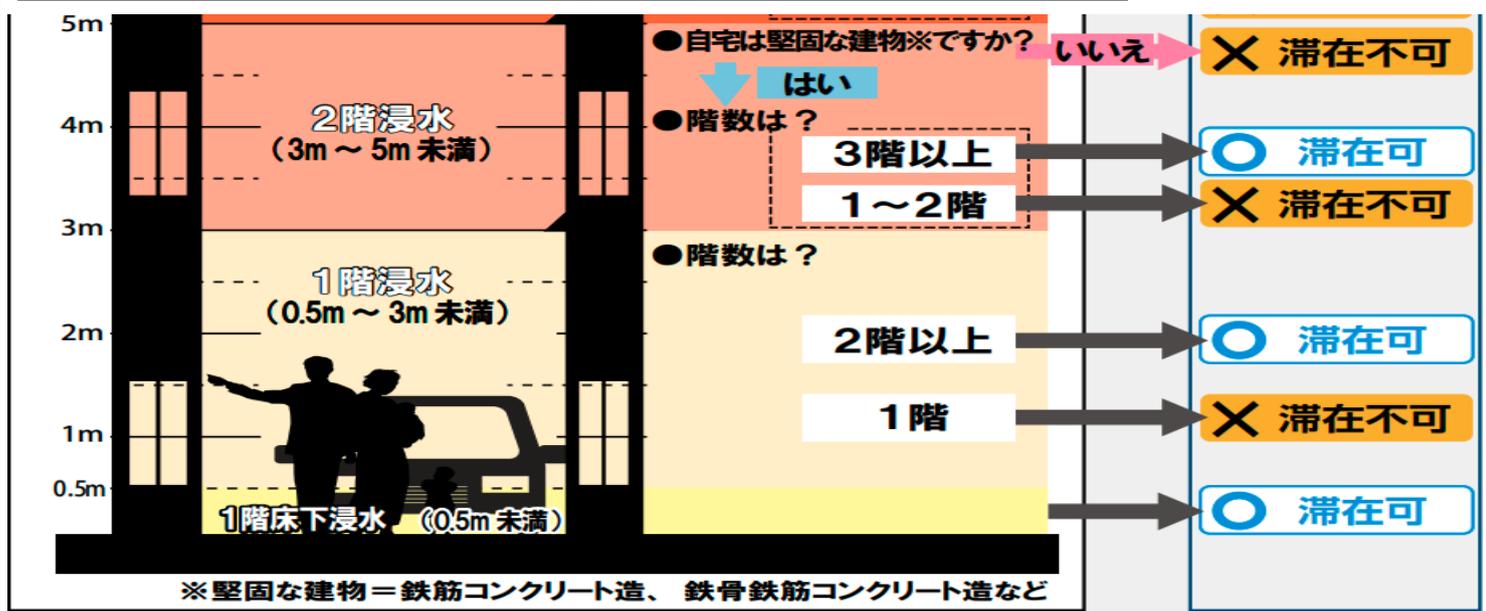
夏から秋にかけては、一年のうちで潮位が最も高い時期です。
台風の接近時には満潮時間にも注意しましょう。



4.高潮からの避難行動(想定最大規模)

左図を見ながら避難行動を考えてみよう

自分の住んでいる場所にかかっている色や自宅の階数などから判断しましょう



3町地域の基本的な避難の考え方(想定最大規模の高潮)

- 滞在可なら、自宅などのなるべく上階に避難も可。(在宅避難)
- 滞在不可または、早めの避難が可能であれば、立ち退き避難
 - ①早めに浸水しない場所や安全な親戚・知人宅・ホテルへ避難
 - ②津波避難ビルなどへ避難



・様々な避難方法に備え、非常持出品や1週間分の備蓄品を準備するなど、**「日頃の備え」**を万全にしておきましょう!

※日頃の備えについては →P8参照

家の周りの安全対策

台風接近時には、強風に対する警戒も必要になります。
気象情報に注意し、台風接近時には、必要な対策を忘れずに行いましょう。

屋根	めくれたり、壊れていないか確認する。
外壁	亀裂などは早めに補修しておく。
窓ガラス	シャッターや雨戸がきちんと閉まるか確認する。 なければガラス飛散防止のためカーテンを閉めておく。
ベランダ	物干し竿など飛びやすいものは室内へ移動する。
側溝・雨どい	ゴミや土砂を取り除き、水はけをよくする。

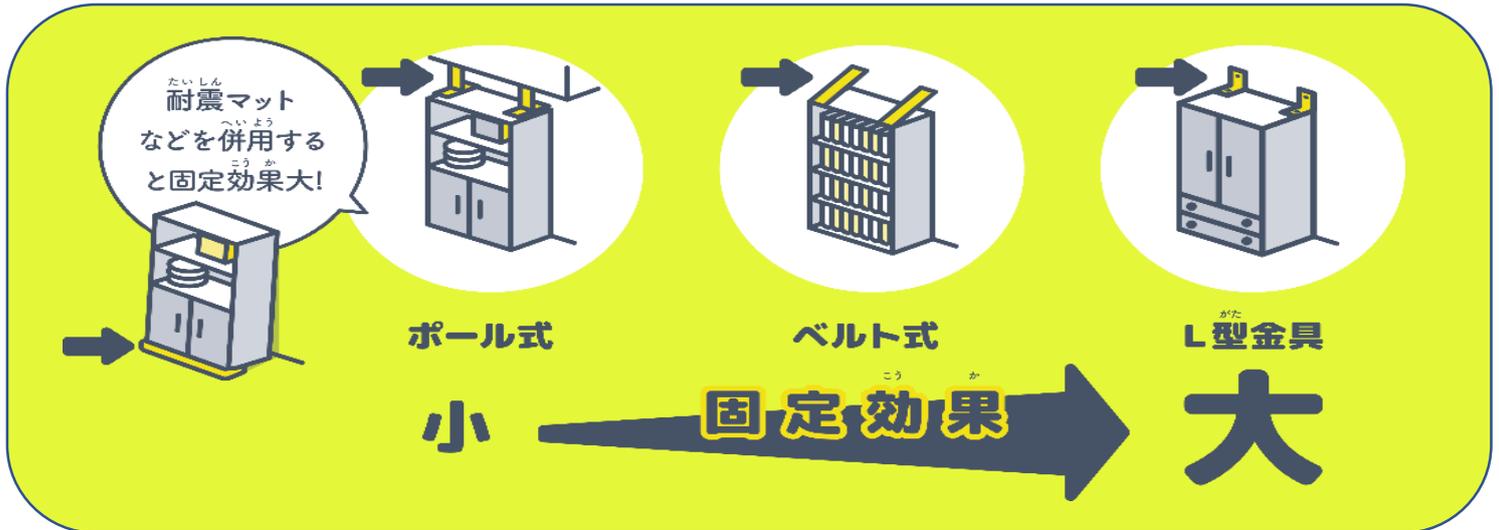


日頃の備えについて

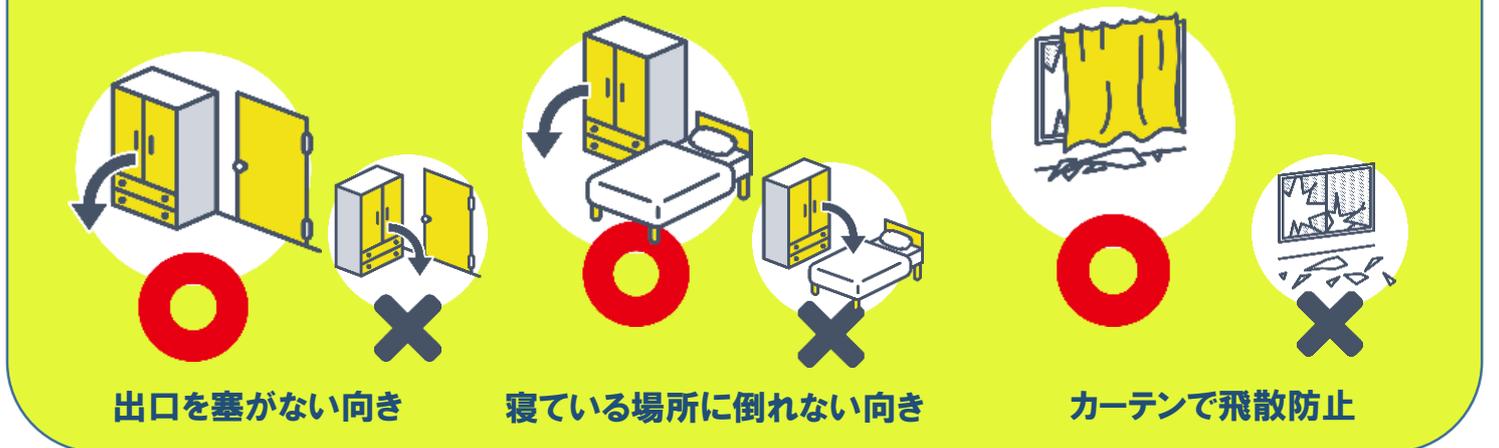
災害の被害を最小限にするためには、日頃からの備えが大切になります。
日常の一部に防災を組み込み、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

1. 家具の転倒防止対策や配置の工夫

地震で大型家具が倒れてくると、大怪我や最悪の場合は命の危険があります。
予め、ホームセンター等で器具を購入し、家具を固定しておきましょう。



器具の取り付けが難しい場合は、家具を置く向き等だけでも工夫しましょう。



2. 地震発生時の出火防止対策

- 地震発生時の火災は被害を何倍にも大きくします。
- 消火器を準備し、使い方を確認しておくなど、準備しておきましょう。
- 立ち退き避難時は、ブレーカーを落としましょう。(通電火災防止)



3. 備蓄品の準備

飲食料は7日分

災害時、支援物資はすぐに行き渡りません。また、電気・ガス・水道も止まるかもしれません。

食料・飲料水は**7日分**用意しましょう。

参考～電気・水道・ガスの復旧の目安

電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数
(参考:「一般財団法人日本気象協会HP トクする防災」より)

	阪神淡路大震災 1995年1月17日	東日本大震災 2011年3月11日
電気	2日	6日
水道	37日	24日
ガス	61日	34日



復旧は **電気 > 水道 > ガス**
の順番

備蓄品の一例

品目	備考
食料 (7日分)	インスタント・レトルト食品、缶詰、栄養補助食品、お菓子 など ※他にも、カセットコンロなど調理器具があれば 普段食べているものが備蓄食になります
飲料水 (7日分)	大人1人当たり 1日3リットル (水だけではなく、野菜ジュース、スポーツドリンクなど好きな飲み物も込みで)
トイレ用品	トイレ袋、トイレトーパー、汚物保管容器
燃料	カセットコンロ 、ガスボンベ、固形燃料、電池 など
その他	モバイルバッテリー、ランタン、懐中電灯、ウェットティッシュ、ラジオ、毛布、寝袋、食品用ラップフィルム、衛生用品、ポリタンク(生活用水を入れて備蓄しておく) など

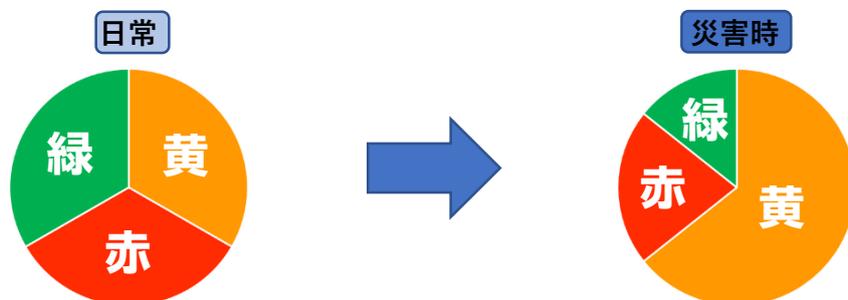
災害時の栄養

災害時に支給される食事はおにぎりなど、黄色の食品が多くなり、赤・緑色の食品は減少します。

災害時のストレスに加え、この栄養バランスの偏りにより、体調を崩す方もいらっしゃいます。

体調を崩さないように自分で、下記 **黄** **赤** **緑** の三色のバランスをとり、おいしく食べましょう!

エネルギーのもとになる食品	お米・パン・芋類・砂糖・油脂など
体をつくるもとになる食品	魚・肉・卵・乳製品など
体の調子を整えるもとになる食品	野菜・果物・きのこ類など



備蓄のコツ **ローリングストック方式**

普段から食べているものを少し多めに買って置き、使い切る前に使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄しておく方法をローリングストック方式と言います。

ローリングストックのポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。

食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができるはずです。

ローリングストックのポイント

- ①賞味期限が近いものを優先的に消費する
- ②使い切る前に買い足す
- ③常温保存や保存期限が長いものがおススメ

食料だけではなく、飲料水やカセットボンベ、普段使いの生活用品などもローリングストックで使いながら一定量家にあるようにしましょう。



ポリ袋調理のススメ!

ポリ袋調理はひとつの鍋を使って複数の料理が同時にできるので、個々に合わせた対応も可能です。

また、調理道具も少なく、節水や効率的な熱源使用(カセットコンロなど)ができるため、時短調理ができ、日常でも災害時でも活用できます。

ポリ袋調理の手順



注意事項

- ・ポリ袋は耐熱温度110℃以上のハイゼックスや高密度ポリエチレン製を選ぶ
- ・調理の時、鍋にポリ袋が直接触れないように、鍋底に金網や皿などを敷く
- ・加熱すると袋が膨張するので、空気を抜いて袋の口を輪ゴムで止めるとよい

動画で詳しく学べます！
「ポリ袋調理を教えます！」



4.非常持出品の準備

必要なものを自分で用意する

●立ち退き避難する場合に備えて、非常持出品を準備しましょう。

飲食物、衣類、感染防止品など、**必要なものは自分で用意して避難しましょう。**

●非常持出袋を用意して、非常持出品を中に詰めておきましょう。

両手の空くリュックサックなどが便利です。

中身の重さは、成人男性で15kg、成人女性で10kg程度までが適当です。

実際に用意して重すぎないかどうか、避難場所まで背負ってみましょう。



非常持出品の一例

非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

□ 飲料 水



重くなりすぎないように、最低限
(500mlペットボトル2〜3本程度)

□ 非常食



食べやすく、
保存期間が長く、
調理せずに食べられるもの

□ 貴重品



現金（公衆電話用に10円玉）・
通帳の写し・健康保険証の写し・
免許証の写しなど

□ 救急用品・医療品 感染防止品



消毒薬・包帯・三角巾
マスク・体温計・スリッパなど

その他

□ 常備薬（特に持病のある方）、お薬手帳



□ ホイッスル（笛）

□ 携帯電話のモバイルバッテリー

□ 衣類（上着、下着、靴下）

□ 携帯ラジオ + 予備電池

□ ビニール袋

□ アイマスク、耳栓

□ ティッシュペーパー

□ 生理用品

□ ヘルメット、防災ずきん

□ 厚手の手袋（軍手）

□ ウェットティッシュ

□ 懐中電灯 + 予備電池

□ タオル、ハンカチ

□ 衛生用品

□ 石鹸、ドライシャンプー

□ 歯磨きセット

□ 底の丈夫な靴、スリッパ

□ 雨具、防寒具、保温シート

□ 携帯用カイロ

□ 筆記用具

□ 携帯用トイレ

□ 簡易食器（割り箸、紙皿）

□ 携帯ナイフ、缶切り

□ 家族やペットの写真

※ 自分や家族の状況に応じて必要な物は変わってきます。
世帯事情に応じたオリジナルの非常持出品を備えておきましょう。

定期的に点検を行きましょう

- ✓ 賞味期限切れになっていないか
- ✓ ライトやラジオの電池はきれていないか
- ✓ 物品が不足していないか



5. 情報収集手段の確認

複数の手段を使えるようにする

●災害時には複数の手段で情報が得られるよう、日頃から使い慣れておきましょう。



西宮市ホームページ・西宮市防災ポータル

防災・災害情報を確認することができます。

URL (ホームページ) <https://www.nishi.or.jp/>
(防災ポータル) <https://www.nishinomiya-bousai.jp/>

ホームページ



ポータル



にしのみや防災ネット(メール)・ひょうご防災ネット(アプリ)

事前登録必要

災害時などに市から緊急情報(避難所開設情報など)が配信されます。

※「にしのみや防災ネット(メール)」はメールアドレスの登録、「ひょうご防災ネット(アプリ)」はダウンロードが必要です。

難しい場合はわかる人に登録してもらおう!

登録案内 にしのみや防災ネット

メール nishinomiya@bosai.net

右のコードを読み取るか、上記メールアドレスを直接入力し空メールを送り返信メールに記載の手順に従って登録してください



登録案内 ひょうご防災ネット

URL <https://bosai.net/index2.do>

右のコードを読み取るか、上記URLへアクセスし、「スマートフォンアプリはこちら」のページに記載の手順に従ってダウンロードしてください



緊急速報メール(エリアメール)

登録不要

設定が必要な場合もありますので、詳しくは携帯電話会社各社にお問い合わせください

緊急情報が緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。



SNS



Twitter
(ツイッター)

アカウント名 [nishinomiya_shi](#)



Facebook
(フェイスブック)

ページ名 西宮市役所



LINE@
(ライン)

アカウント名 西宮市
ID @miyakko



テレビの @ボタン

データ放送に対応しているテレビでは、「@ボタン」を押すことで、気象情報や災害情報を確認することができます。

ch サンテレビ 3ch
NHK 1ch など



緊急告知ラジオ(さくら FM78.7MHz)

緊急時には自動で電源が入り、防災スピーカー(防災行政無線)と同じ内容を最大音量で聞くことができます。

販売場所: 市内各所

詳しくは市のホームページでご確認ください



緊急告知ラジオ



防災スピーカー

大きな音声やサイレンで防災・避難情報等を市民の皆様へ伝達します。放送が聞こえたら、慌てずにテレビやラジオからの情報収集に努め、落ち着いて行動するように心がけてください。

防災スピーカーの放送内容を再確認

050-5578-2628 (通話料有料)

この番号に電話すると、放送してから24時間以内の直近の放送内容を再確認することができます



災害時専用電話

地震・津波・洪水・高潮及び土砂災害等により発生した災害に関する情報はこちらへ

0798-35-3456

動画で詳しく学べます!

「5分で分かる 災害時の情報収集」



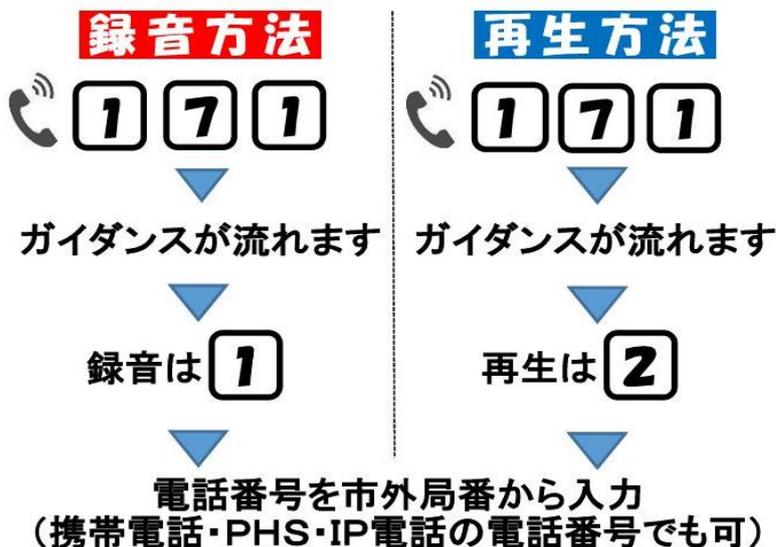
6. いざというときの安否確認手段

災害用伝言ダイヤル(171)

地震など大災害発生時は、電話がつながり難い可能性があります。

災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方などの電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。(災害時のみ利用可)

電話:災害用伝言ダイヤル(171)の使い方



登録や再生には
被災地の方の電話番号が必要になります。
事前に共有しておきましょう!



インターネット:災害用伝言板(web171)の使い方

「web171」 と検索

- ①登録時：電話番号を入力し「登録」
- ②確認時：電話番号を入力し「確認」

災害用伝言板 web171

0 9 0 △△◇◇□□○

登録

確認

お名前・メッセージを選択・入力し「登録」

災害用伝言板 web171

お名前 にしのみや たろう

無事です 被害があります

自宅にいます 避難所にいます

伝言 家族全員無事です。

登録

171とweb171は
相互連携しています。

災害時以外にも、使い方を確認できる
「体験利用日」があります!

体験利用日

- ・毎月1日15日 0:00~24:00
- ・1月1日~3日 0:00~24:00

- ・8月30日9:00~ 9月5日17:00
- ・1月15日9:00~1月21日17:00

あなたの家庭の防災力チェック

ここまでで地域の災害リスクや自分の取る行動について、学べたと思います。
最後にあなたの防災力をチェックしてみましょう。
チェックの入らない項目があれば改善し、全部にチェックできるようになりましょう。

災害リスクの把握や災害時の行動編

- 3町地域の災害リスクを知っている。
- 地震の揺れから身を守る行動を取ることができる。
- 前もって避難の必要性や避難場所、タイミングを決めている。



日頃の備え編

- 家具の転倒防止対策または配置の工夫をしている。
- 地震発生時に出火防止・初期消火を行うことができる。
- 常に家族1週間分の飲食料をストックしている。
- 非常持出品をすぐ持ち出せる場所に用意している。
- 災害時の情報収集手段を複数用意している。
- 家族や大切な人といざという時の連絡手段を決めている。



地域の助け合い編

- 地域の人といざという時に助け合えるよう、コミュニケーションをとっている。
- 地域の防災活動に参加している。

チェック結果

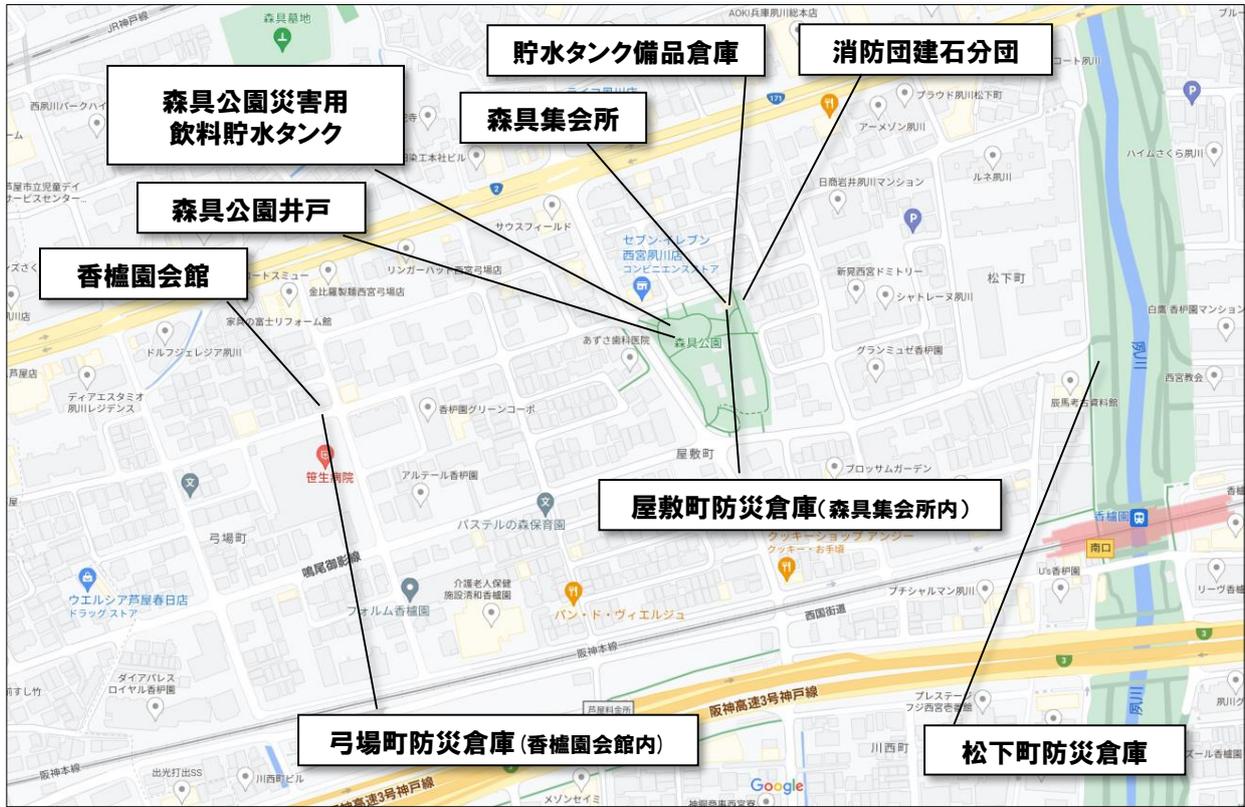


チェック個数	コメント
全部チェック	あなたの防災力はパーフェクト！その調子を継続しよう！
10個～8個	あなたの防災力はいい感じ！パーフェクト目指して頑張ろう！
7個～6個	あなたの防災力はまずまず！まだまだ改善の余地があるよ！
5個～3個	あなたの防災力はイマイチ！ガイドブックを読んで備えよう！
2個～0個	あなたの防災力はアウト！命を守るために真剣に取り組もう！

松下・屋敷・弓場3町地域の防災活動について

◇3町地域内防災拠点 マップと概要◇

【1】防災拠点マップ



【2】防災倉庫について

・屋敷町防災倉庫



- ・救助用工具キット
- ・ヘルメット
- ・メガホン等
- ・スコップ・バール・ノコギリ等
- ・発電機・照明・延長コード等
- ・懐中電灯・ロープ等
- ・担架・防寒防風シート等
- ・その他

・緊急貯水槽用備品倉庫 (森具公園東北端内)



- ・緊急時給水用備品等

・弓場町防災倉庫



- ・救助用工具キット
- ・ジャッキ・スコップなど
- ・バール・ノコギリ等
- ・懐中電灯等
- ・防寒防風シート等
- ・その他

・松下町防災倉庫



- ・救助用工具キット
- ・ジャッキ・スコップ
- ・バール・台車・ノコギリ
- ・懐中電灯
- ・防寒防風シート
- ・車いす

【3】森具公園内災害用飲料水貯水タンクについて



普段は常に新鮮な水が流れており、災害時には遮断弁が作用するため、安全な飲料水を確保することができます。

これらの水を運ぶためにポリタンクや台車を準備しておきましょう。

【4】森具公園内井戸水利用について



災害時に生活用水として利用することができます。飲料水としては適していませんので、絶対に飲まないようにしてください。

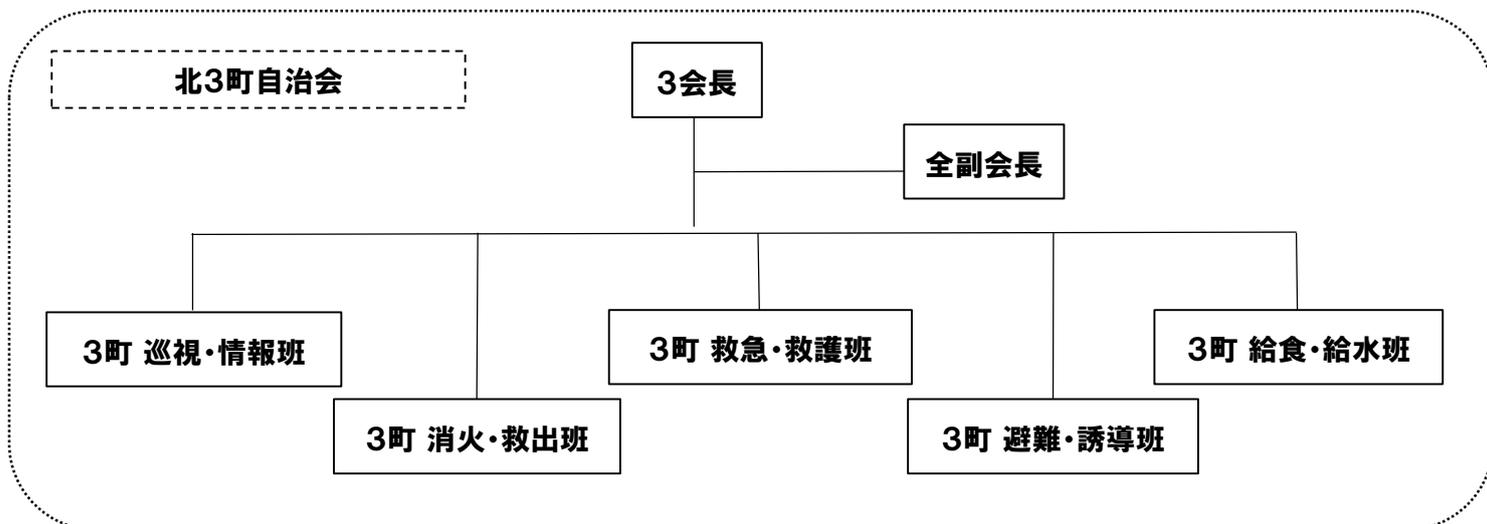
地域で様々なものがありますが、各家庭で備えられるものは、各家庭で備えておきましょう。

◇3町地域 災害時の活動体制と概要◇

① 災害時支援本部設置

- ・大規模な地震等の災害が発生した場合、自主防災会のメンバーはまず森具公園に集まります。
- ・森具集会所や周りの状況を確認したうえで、可能な場合は森具集会所に本部を設置し、3町自治会長・自主防災会長の協力のもとに支援本部組織の構築作業を開始。
- ・集まったメンバーや避難場所に集まった方々中心に防災活動に応援いただける方を募り、組織・体制を確立してきます。

② 3町自治会の自主防災組織図(3町各自主防災組織は同様の形をとり、柔軟に共助連携)



③当地区・災害時自主援助組織の編成

◇巡視・情報の収集と共有

- ・各町で被害状況(火災・負傷者・要救出者の有無等)を集約し、本部に伝達。
- ・住民の皆様からの積極的な情報提供もお願いします。

◇消火・救出

- ・初期消火活動、並びに消防(119)・地元消防団への通報
 - ・防災機材の撤出と準備
 - ・巡視やガス漏れ、電気火災への注意喚起呼びかけ(避難の際は必ずブレーカーオフ(通電火災防止))
- ※救出活動等は若くて力のある人のご協力が必要です。是非ご協力ください。

◇救急・救護

- ・救護用品準備。・負傷者に応急手当(可能な範囲で)。・重傷者を病院へ輸送するための援助。

◇避難・誘導、支援

- ・1人では避難が難しい方や家屋倒壊の恐れがある方を中心に、避難所へ誘導する。

◇給食・給水

- ・市や自衛隊等をはじめ様々な団体と連携し、食料を確保管理し、必要な人に提供する。
- ※各家庭で日頃から最低7日分の食料や飲食物等の備蓄をお願いします。

◇生活・衛生・清掃・安全点検等

- ・生活面、衛生面、安全面については、自主防災組織参加全メンバーが常にケア。
- 関連物資調達、配給、分配に配慮し、必要と判断した場合は自治会として関係団体と調整する。

◇いざという時のために、いま大切なこと◇

◇目的

- ・いざという時に助け合える環境を作るため、常日頃からお互いに顔が見える関係を構築しておく事が大切です。

◇防災のために常日頃からできる事は

- ・自治会活動への可能な範囲内・無理のない範囲での継続的な参加も役立ちます。
- ・普段からの近隣の方々とのコミュニケーションが大切。
お互いに顔と声と体調が確認できるだけで、いざという時には役立ちます。
- ・年に一回開催される『3町地区合同防災訓練』へ参加する事も大切です。

◇平常時の地域活動が、いざという時にどんな役に立つのか？

近隣の方々の顔がお互いに見えることは、いざという時の

- ・迅速な情報収集
- ・救出が必要と推定できる近隣のお宅がすぐに浮かぶ
- ・救護へのハードルが低くなる
- ・互いに誘い合わせてる避難や誘導がスムーズに
- ・給食や給水を受ける際の共有・シェアなどがよりスムーズに

以上のような点においてエリア内自助機能が早く効率的に実施できる可能性が高くなります。

マイ避難プラン

津波

何mまで浸水しますか？

m

避難のタイミングは？

- ・ 津波警報
- ・ 大津波警報
- ・ 避難指示

自宅待避ができますか？

可 不可

自宅待避が不可能な場合

避難先

夙川洪水

何階まで浸水しますか？

階

避難のタイミングは？

警戒レベル 3
 警戒レベル 4

在宅避難ができますか？

可 不可

在宅避難が不可能な場合

避難先

高潮

何階まで浸水しますか？

階

避難のタイミングは？

警戒レベル 3
 警戒レベル 4

在宅避難ができますか？

可 不可

在宅避難が不可能な場合

避難先

いざというときの連絡先

西宮市災害対策本部

0798-35-3456

(災害時のみ)
FAX:0798-36-1990

警察署

(局番なし) 110

消防局

(局番なし) 119

ライフライン

水道	西宮市上下水道局 電話受付センター	受付時間 平日 (8:45 ~ 20:00) 土日祝 (8:45 ~ 17:30)	0798-32-2201
		受付時間外 (宿直室)	0798-32-2271
電気	関西電力送配電 (株)		0800-777-3081
ガス	大阪ガス (株)		0120-7-19424
電話	NTT 西日本	一般電話からは	113
		携帯電話・PHS からは	0120-444-113

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。

